

## 第 1621 回例会報告

令和1年11月7日(木) 晴れ

副会長挨拶

「R L I」

副会長 小口直久

本日は私が地区でお世話になっております RLI について少しお話しさせていただきます。

本年は田中エレクトが RLI に参加されております。RLI と言うのはロータリー・リーダーシップ・インスティテューション、日本語訳でロータリーリーダーシップ研究会と訳します。テキストがありましてそれに沿って年 4 回行われます。1 回から 3 回が 1 日 50 分で 6 セッション、4 回目が卒業コースとして 2 セッション、その後懇親を含めた飲み会で終了となります。

今回も 60 名近くの 2600 地区のロータリアンが参加されております。

私も今年で 4 年目になりますのでトータルしますと 200 名以上のロータリアンと知り合いになれたこととなります。

基本的にセッション内では一方的な説明、単に答えを求めるのではなく、皆でセッションの話題についてディスカッションして自分の意見を相手に伝えると言うのがこの RLI の目的となっております。

今回の参加者の中に伊那西ロータリーの会員で皆さんもよく知っておられる、「かんてんぱぱ」で有名な伊那食品工業の会長の井上修さんが参加されておられます。初めてお会いした印象は、今ここだけの話ですが横柄な態度にあまり良い印象を持ちませんでした。その日はそのままの印象で自宅に戻りましたが、2 日後に井上さんからお礼のお手紙をいただきました。今まで何年かやっておりますがお手紙をいただいたのは初めてです。

その時に思ったのは、やはり立派な企業さんの代表の方は気配りがしっかりされているなどここで改めて感じさせられました。私もいただいたことがあまりにも嬉しくて、お礼のお手紙を送りました。

先日 2 回目の RLI が行われましたが、井上さんは相変わらず豪快でセッションのグループの仲間をすごく盛り上げておられました。私も初印象の呪縛も解け、すごく楽しくセッションになりました。

最後にこのクラブでも毎年 1 名のメンバーにこの RLI 参加していただいております。ロータリーの勉強だけでなく地区の仲間づくり、そしてリーダーシップを育成する意味でもこの RLI に参加されることを望みます。

また機会があれば、地区から素敵なロータリアンを紹介できればと思います。



♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のことば
会員数	37 人	2 名	4,000	35周年記念誌を飾る「テーマ書」を小林聖仁会員に記念誌発行部会がお願いしていたところ「報恩謝徳・実践奉仕」のテーマをお考えいただき、立派な揮毫をいただきました。従って35周年テーマを「報恩謝徳・実践奉仕」に変更掲げることいたします。 御子柴文夫 石塾様本日は当クラブにお越しいただきありがとうございます。卓話楽しみにしています。よろしく願いいたします 副会長 小口直久
出席対象	36 人	累計	224,000	
出席者数	22 人	目標額	60 万円	
出席率	61.1%	達成率	37.33%	
前回修正	75.0%			

## 幹事報告

## 【報告事項】

1.地区役員の推薦が来ました。会長・会長エレクトにお渡ししました。地区役員を依頼された方は率先してお受けください

2.先週お話しした2600地区青少年基金プロジェクトの申請書 希望の方は事務局お手伝いしますので連絡ください

諏訪グループのガバナー補佐経由になりますので時間はありません

## 【連絡事項】

1.世界大会参加の方 登録のお手伝いをします。

FAX 用紙手元にあります

手書きの用紙にわかる限り記入して事務局までお持ちください”

2.日台ロータリー親善会議の案内が来ました。回覧します。

3.手続き要覧の先行予約が来ました希望の方は幹事まで連絡ください。

## 【受領文書】

1.財団ニュースが来ました。回覧します

2.財団関係の資料が届きました。国際奉仕委員会にお渡ししました

## 【第 1621 回例会】

社会奉仕委員会 担当例会

スワニズム事務局長 いしのみちほ 石埜三千穂様

## 『世界唯一の2万年文明・諏訪』

石埜三千穂様による諏訪の太古から続く風土を掘り起こし、現在の日本の警鐘に続くお話をさせていただきました。

縄文時代 諏訪は確かに日本の中心地でした。しかし縄文時代が一説によると2万年も続いたのに、文字による伝達手段をもたない人々が和田峠の黒曜石をどのように日本国中に伝え続け、なぜ日本全国に供給され続いたのか。そこにあるのは大きな変革が根こそぎすべてを変えてしまう諸外国の歴史に比べ類層的に重なり合う日本の歴史、考え方の深さを教えていただきました。

